

広報委員会

期日：2月5日～6日

委員長：小林 久

■「議会だよりの編集について」（埼玉県寄居町）

寄居町議会では、広報広聴委員自らが町民に取材を行い、忖度のない意見を議会だよりに掲載しています。

町民の声を聴くこと、議会だよりの編集において、委員個々の意識の高さが感じられ、委員が主導権を持ち、一丸となって広報広聴に取り組んでいる印象を受けました。

また、「先輩議員でも一期目の議員でも同じ議員である。町民の意見を取り上げていくことが我々の役目」「主役は議員から町民へと大きく変化」という委員の言葉が印象的でありました。



■「議会広報・広聴全般について」（埼玉県北本市）

北本市議会の議会だより編集については、現在、段階的にリニューアルを進めているとのことで、紙面に掲載する文字数を減らして読みやすくする、一般質問ページを横書きに変更し、タイトルも短文で目を引くものにするなど、さまざまな工夫を取り入れています。実際に議会だよりを拝見し、市民が親しみやすい形に作られていると感じました。

議会モニター制度においては、市民の方に、市議会のことを知っていただくきっかけとして、最終的には、議員のなり手を増やしていくことにつながればと考えているとのことでした。



今回の行政視察研修により、両議会の広報広聴の取組は大いに参考となりました。

議員自らが率先して住民の声を聴くことや、議会モニターのような制度を通じて意見を聴くなど、「広聴」の部分についても、今後の取組の一つとして、検討の余地はあると思われます。

両議会の取組を参考に、今後のより良い広報活動に生かしていきたいと考えます。

所管事務調査

総務委員会

期日：1月17日

委員長：土子 浩正

霞ヶ浦ふれあいランド再生整備事業の運営状況について

- 入園者数（令和6年7月31日～令和7年1月14日現在）

43,397人

- キリンの展示状況

令和6年12月5日から展示を開始した2頭のキリンについては、施設や環境への適応も順調に進み、仲睦まじく生活する姿を来場者に見せている。来場者からは「近い距離でキリンを見られるのが新しいと思った」など、施設や展示方法に対して肯定的な意見も多数いただいていると事業者から報告を受けている。

- 令和6年度 市内のこども無料招待の実施について

市の新しい観光交流拠点の魅力を多くの市民に知ってもらうため、市内在住の中学生以下約2,900人を対象に無料招待を実施（令和7年2月～3月末）



霞ヶ浦ふれあいランドでのキリン展示の様子。近い距離で見ることができる。